

柚木沙弥郎「まの・」展

染色家で✚アーティストの柚木沙弥郎さんの



展覧会です。「くらし」と「人生」をテーマに、



大人も子どもも



ワクワクする「絵

のみち」と「布の森」が美術館「えき」KYOTO に

広がります。



人や動物の



ゆかいな絵本

原画、ユーモラスな人形たち、色とりどりの



布が織りなす森のような空間を、じっと見つめて、

全身で感じてみてください。

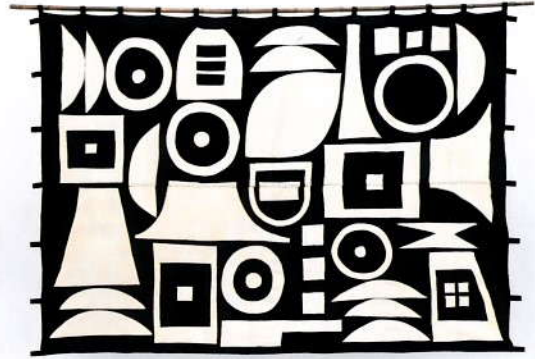


2022年11月11日(金) - 12月25日(日)

●会期中無休 ●10時から19時30分まで (入館締切は閉館の30分前まで)

主催：美術館「えき」KYOTO、京都新聞 キュレーション：林綾野 企画協力：ブルーシーブ 広報：会場グラフィックデザイン 白い立体

※新型コロナウイルス感染症の状況により、変更する場合がございます。



染色家でアーティストの柚木沙弥郎さん(1922-)。型染めで布に模様を大胆に染めた染色作品をはじめ、版画や絵画、立体、絵本など、70年を超す創作活動は今日も続いています。近年ではIDÉEや京都のACE HOTELとのコラボレーションなど、世代を超えて注目を集めています。展覧会は「life・LIFE」、すなわち「暮らし」と「人生」がテーマです。日々の暮らしを豊かに彩ること。そしてコロナに見舞われた今日、人生をいかに大切に生きるか。1990年代から手掛ける愉快的絵本作品の原画約80点と、紙粘土と布で作られたユーモラスな人形たち。そして約30点の色とりどりの大きな布が織りなすダイナミックな展示空間をじっとみつめ、全身で感じてみてください。

1 人や動物たちの生きる喜びがいっぱい描かれた愉快な「絵のみち」

『そしたら そしたら』原画 2000年 木城えほんの郷蔵 撮影・吉次史成



3 紙粘土と布から生まれた、みんな顔の違う人形たち
(へ町の人々) 2004年 作家蔵 撮影・平野太郎

柚木沙弥郎 ゆのき・さみろう

染色家・アーティスト。1922年、東京都生まれ。1942年、東京帝国大学文学部美学・美術史科に入学。1946年、岡山県の大原美術館に勤め、柳宗悦の「民藝」に出会い、芹沢銈介に師事し染色家に。1972年に女子美術大学の教授、1987年からは学長を務めた。染色のほか、版画、人形、絵本などさまざまな作品を制作・発表。国内の公立美術館のほか、フランス国立ギメ東洋美術館でも展覧会を開催。 撮影・木寺紀雄



柚木沙弥郎 YUKI・LIFE展 2022

入館料(税込)

●前売券販売:2022年9月10日(土)~11月10日(木) ●販売場所:当館チケット窓口(休館日を除く)、京都駅ビルインフォメーション、チケットぴあ、ローソンチケット
※()内は前売料金。「障害者手帳」をご提示のご本人さまとご同伴者1名さまは、当日料金より200円割引。

一般	900(700)円
高・大学生	700(500)円
小・中学生	500(300)円

美術館「えき」
KYOTO

※展示作品やイベント内容が変更、または中止になる場合がございます。予めご了承ください。

※入館の際、マスク着用・検温・消毒をお願いしております。※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、掲載内容に変更が生じる場合がございます。※当館における新型コロナウイルス感染症に関する取り組みとお客さまへのお願いを、当館ホームページに掲載しております。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

京都駅下車すぐ・ジェイアール京都伊勢丹7階隣接

お問合せ:ジェイアール京都伊勢丹 — tel. 075-352-1111 (大代表)
美術館「えき」KYOTO 公式ホームページ — <https://kyoto.wjr-isetan.co.jp/museum/>
公式Twitter — @ekimuseum



公式LINEアカウント

